



ベビーカーの選び方

両対面 や 3輪 などの自分に一番うれしい機能を

教えて先輩! 購入したベビーカーの **良かったこと** ・ **悪かったこと**

良かった

軽くて持ちやすいものは移動が楽チン

「子どもを抱えたまま持ち上げるから軽さは大事!」[軽いと階段の上り下りが怖くない]など、軽さで選んでよかった!という声が多数!

エアタイヤの3輪は走行音が静かで◎

走行性がスムーズという以外に、「寝ちゃった赤ちゃんを起こさずに行くので、音がうるさくないのは大事!」というママも

子どもが大きくなると重みでフレームがギンギン

「お店で試したときは気にならなかったけど、子どもの体重が増えると押しにくくなって……」と、成長を見越さず選んで失敗

エレベーターなしの3階だったから重たくて持ち運びが大変

住環境に合うかも大事。「パパがいないときは、まず子どもを家に置いてから、あとでベビーカーを取りに行くことに……」

あなたは何を一番重視しますか?

<p>●移動に車や自転車をよく使う</p> <p>●A型ベビーカーは人にもらえる</p> <p>●玄関が狭くて置き場所に困る</p> <p>A型はお下がりでもらえるという人も多い。A型を使ってみて、何が重要か体感してからB型を選ぶのもアリ</p> <p>あなたは B型</p> <p>← P28をCHECK</p>	<p>●公園など凸凹道をよく通る</p> <p>●自宅周辺に坂道が多い</p> <p>●保育園などの送り迎えに利用</p> <p>赤ちゃんとおちこちお出かけしたい、凸凹道や坂道もストレスなく移動したいという人は機動力が大事</p> <p>あなたは 機動力</p> <p>← P26をCHECK</p>	<p>●人と同じものは避けたい</p> <p>●ベビーカーでも赤ちゃんぽいのはイヤ</p> <p>●おしゃれじゃないと許せない</p> <p>海外製や値段が張るものが多いもの、お気に入りのデザインなら赤ちゃんとお出かけが楽しみになる</p> <p>あなたは デザイン</p> <p>← P24をCHECK</p>	<p>●予算は5万以下と決めている</p> <p>●コスバの良のものが大好き</p> <p>●祖父母の財布をあてにできない</p> <p>車移動が多い、抱っこひもと併用するつもりなど、ベビーカーを使う機会が少ない人もコスバ重視でOK</p> <p>あなたは 価格</p> <p>← P22をCHECK</p>	<p>●エレベーターのない集合住宅住まい</p> <p>●電車やバスをよく使う</p> <p>●階段をよく使う</p> <p>折り畳んで持ち運びしなれないシーンが多いなら、軽さは絶対! 折り畳みしやすいとおよし</p> <p>あなたは 軽さ</p> <p>← P20をCHECK</p>
--	---	---	---	--

Check! 押しやすさ・畳やすさなどベビーカーの**特徴をチェック!**

小回り	障害物をサッと避けられるか、段差を越えられるか、凸凹道でもガタガタしないかなど、走行性や機動力のよさをテスト
重量	持ち上げたときの重さや持ち上げやすさを比較。赤ちゃんを抱えながらでも畳みやすいかどうかをチェックした
衝撃吸収	
畳みやすさ	
持ちやすさ	

これは外せない! というポイントを決めよう

ベビーカーはタイプによってそれぞれ特徴があり、同じタイプでもメーカーのこだわりポイントが違います。初めてベビーカーを選ぶとき、何を基準に選んだらいいのか迷ったら、使うシーンと譲れないポイントを考えてみましょう。家の前に階段があるなら軽さは大事です。予算から選ぶのもアリ。もちろん、デザインが好みという理由で選んでもいいんです。どの製品も赤ちゃんの安全性はしっかり考えて作られているので、ママやパパが使いやすいかどうかを、実際に生活スタイルに合ったベビーカー一台を見つけてください。

1

ベビーカー編

タイプや使い勝手をふまえて優先すると失敗しません!

選び方 価格 値段が高いほどハイスペックになる

タイプは同じでも、スペックが高いものはやはりお値段が上がります。ライフスタイルに合わせて機能性、軽さ、安さのどれをとるか考えてみて。

高価格 6~10万円 **低価格 2~4万円**

価格差 2倍以上

シート クッション性や通気性などの配慮が細かい
頭部をしっかり包み込んでくれる。汗をかいても乾きやすいなど、赤ちゃんが快適に過ごせるよう細部までこだわられ

タイヤ エアタイヤやサスペンションなど衝撃を和らげる効果があったつきやぐらつきがないから、赤ちゃんが快適に過ごせるだけでなくママも操作しやすい

ハンドル 安いものは角度調節ができないものが多い
高さが合わず、押しにくさを感じることも

フレーム・ホイール フレームなどのつくりで価格に違いが
フレームが細いと軽やかな反面、ぐらつきが気になることも

選び方 タイプ ベビーカーの種類は主に4つ 主流は長く使える「両対面」

ベビーカーは大きく分けて4つのタイプがあり、それぞれ操作性が異なります。タイプ1~3は0カ月~3歳くらいまで使えるので、成長したときのことも考えて選びたいところ。

タイプ2 3輪

前輪が1つでコントロールしやすい
基本的に背面仕様。エアタイヤを採用したモデルが多く、小回りがきいて押し心地も快適。安定感がある反面、重さがあるので持ち運びは△

タイプ1 両対面

「対面」「背面」の両方使えるタイプ
シートを本体から取り外すか、ハンドルで対面と背面を切り替え。ハンドル切り替えはオート4輪だと背面でも対面でも押しやすい

タイプ4 B型

7カ月から使えるセカンドベビーカー
7カ月ごろから使えるベビーカー。軽くコンパクトなお出かけに便利。価格もリーズナブルだから2台目として購入しやすい

タイプ3 背面

対面にはできないが機動力に優れる
フレームが直線だから、ぐらつきがなく押しやすい。比較的軽量で機動力もあるので、赤ちゃんが成長しても使い続けられる

定番メーカーから海外製まで33台の特徴を全部見せ!

後悔しないベビーカー選びのためには

何を一番重要視するかを見極めて!!

選び方 快適性 赤ちゃんが安全に快適に過ごせるかとママ・パパの使い勝手の両立するものがベスト!

赤ちゃんの快適性とママ・パパの使い勝手を両立するのは難しいもの。絶対を外せない機能なのか、さほど重要視しない機能なのか優先順位を決めると、ベビーカー選びがしやすくなります。

Point! シートのクッション性やホロの大きさなど作りも重要

シートのクッション性 繊細な赤ちゃんを守るシート。クッション性が高いと振動や衝撃が伝わりにくい

リクライニング 首すわり前の赤ちゃんには必須。お昼寝しちやったときも快適な姿勢がとれる

通気性・清潔性 赤ちゃんは汗っかきだから、通気性のよさは重要。丸洗いで清潔に保てる

ホロの大きさ 強い日差しや冷たい風から守ってくれる。窓があるとママの顔も見えて安心

押しやすさ・収納などをチェック Point!

重さ 赤ちゃんを抱っこしながら階段を上り下りしたりすることを考えると、軽いほうが負担は少ない

畳みやすさ 電車やバスなどに乗るとき、赤ちゃんを抱えたまま片手でサッと畳めるのが理想

自立するか 畳んだときに自立すると、玄関で邪魔にならない。車のトランクに積むときも自立するほうが便利

カゴの容量 赤ちゃんとお出かけは荷物がいっぱい。カゴの容量が大きいと買いものにも行きやすい!

自立する 畳んだときに自立すると、玄関で邪魔にならない。車のトランクに積むときも自立するほうが便利

押しやすさ 力を入れなくてもスムーズと動いて小回りがきくと◎。ハンドルが身長に合う高さかどうか大事

持ちやすさ 肩にかけられるか持ち手がついていると、階段の上り下りや電車の乗り降りもスムーズ!